

# けせん庄報



## 目次

●巻頭言 「未来かなえネット」を考える 氣仙医師会副会長 鵜浦医院 院長 鵜 浦 章… 2	●県立病院各科紹介 「僧帽弁閉鎖不全症に対する新しいカテーテル治療 (経皮的僧帽弁クリップ術)」 岩手県立大船渡病院循環器科 科長 木 村 琢 巳… 12
●理事会報告… 3 ■第1回理事会報告… 3 ■第2回理事会報告… 5	●平成30年度気仙医師会定時総会報告… 14
●隨 想「研修医との日々」 岩手県立高田病院 副院長 遠 藤 忠 雄… 9	●気仙医師会新役員及び組織体制… 16
●各科のトピックス 「当院の訪問診療、往診の状況について」 岩渕内科医院 院長 岩 渕 正 之… 10	●会員の異動… 18
	●事務局日記… 22
	●編集後記… 24
	●表紙のことば… 24



第146号  
2018. 7. 25

気仙医師会  
岩手県大船渡市盛町字内ノ目6-1  
TEL:0192-27-7727 FAX:0192-26-2429  
<http://kesen-med.or.jp/>

# 卷頭言



## 「未来かなえネット」を考える

気仙医師会 副会長  
鵜浦医院 院長

鵜 浦 章

「未来かなえネット」を始めてほぼ2年になる。検査の重複を避け患者負担を軽減することを主な目的として導入したのだが、画像閲覧の期待感とともに医療進歩の礎になればとの思いもあった。しかし、正直言って満足度は低い。データ取り出しに要する時間が短いのは評価できるのだが、様々な問題があって "使えていない" のが実情である。以下問題点ごとに開業医の視点で検討してみた。

**血液検査（特に生化）**：私は、生活習慣病診療のため肝機能、脂質（中性脂肪、HDL－及びLDL－コレステロール）、クレアチニン、尿酸、アルブミンは必須と考えているが、県立病院の診療科によっては欠けている項目が多い。仕方なく再検査するのだが、これでは医療費削減につながらない。参加施設で共通した基本項目を協議すべきと考える。

**画像検査（X線、MRI）**：表示画面が小さく、画質も悪いので、改善の必要があると思われる。私は思い切って簡素化し、CT、MRIは専門医による読影レポート（所見ある場合、画像を数枚添付）をアップロードすることが解決策と考えている。これにより内視鏡、エコーなどもアップ可能となる。

**疾患名**：診療の集大成なので最も重要なデータであるが、疑診、疾患不明が混在して分かり難い。保険請求のからみもあり、微妙な問題である。

**検証**：参加患者数、アクセス数は利用者満足度の鏡である。運営側は常にその推移に気を使って欲しい。

ネットを道路に見做すなら、行き先が空地では通る人はいない。既存でも自前でも良いので、いわゆる "商店街" と言うべきサービスを作り上げるのが重要と思われる。例えば私が利用したいサービスは、ネットを利用した「お手軽紹介」である。"75才、女性、夜間頻尿5回、膿尿（-）、エコーでは異常所見なし"と問えば、"腎機能が悪くなれば、○○○を処方して様子を見て下さい"と返事が来る。病院、患者、開業医いずれもメリットがあり、医療費削減につながれば行政も喜ぶであろう。

# 隨 想



## 「研修医との日々」

岩手県立高田病院

副院長兼地域医療科長

遠 藤 忠 雄

県立高田病院に赴任して楽しいのは研修医が来ることだ。今後の医療を担う若者と接することは勉強になるし喜びでもある。皆、優秀だ。教育システムが我々の時代とは違う。今の研修医向けの医学書は凄く、実臨床で経験豊富な医師が解り易く記述している。私は研修医が来るたびに持参した本をチェックして良書を注文する。

2年前に高田に来た時、内科医3人が辞めた穴を一人で埋めねばならなかった。外科医の私には内科外来が理解不能だった。

5月の研修医が循環器に詳しかったので心不全は任せ、空いた時間で高血圧を勉強した。その後糖尿病→肺炎→ と芸域を広げた。研修医が居なければ挫折したかも知れない。

研修医には頭ごなしに言わずに治療方針を理論的に説明する。が、中には「今はこうなっているんです！」と文献を叩きつけて反論する人もいた。アキレス腱を断裂した時に彼女が居たのは天祐だった。「病棟は任せる。トラブルだけ報告せよ。」と頼み松葉杖を片手に外来で寝ていた。彼女は優秀だがお間抜けだった。「尿道カテーテルが入りません」「頭を上げて姿勢を良くしろ！…だからさあ、お前の髪、チンコに垂れてるぞ。」「きゃー！」

細かく言わなくても方針が私と酷似する研修医も多い。私の治療が正解とは言わないが、こういう人は臨床医向きだと思う。

知識はあるが…という人も。80代のDICにリコモジュリン？私が目を離した隙にこういう治療をする人も居る。「DICの予後は原疾患の治癒に左右されるので治る見込みが無い患者に使うべきではない」と説明するのが精一杯。

「カルテにこんなことを書くな。」と指導をしても止めない人も居る。「こんな治療はありえない…」ラインや掲示板に書き込むノリである。内容はくだらん。「グレード〇なので腎保護のために専門医に紹介せよ」と言うが、96才の腎機能低下症例をいちいち専門医

に紹介するか。

「専門書で読んだけどライゾデグは安定しているので注射前に攪拌しなくていいのだとか。道理で患者の血糖値が良いなあ。」「国試のヤマです。誰でも知っていますよ。」

仕事は完璧だが酒癖が…という人。「え？バスで来たの。車は？」「スピード違反で免停です」という人。すぐに泣くので皆で慰めなくてはいけない人。飽きない。

研修委員会で「研修医の外来診療能力が低いのでは？」と質問した。これは全国的な傾向で、次の研修制度では外来診療を増やすそう。診察をろくにせずにいきなり「全身CT」と叫ぶ奴は問題らしい。「高田では全身CTも撮れないですか。」「うるせー。その前にもっと考えろ。」こういうバトルも面白いんです。

さて、次はどういう人が来るだろうか。

---

## 各科のトピックス

### 当院の訪問診療、往診の状況について

岩渕内科医院 院長 岩 渕 正 之

当院が本格的に訪問・往診診療を始めて3年目になります。

昨年度の平均月間患者数は40人、年間看取りは21件でした。

がん患者割合は年々増えており3割程度を占めております。

総患者数の8割が県立大船渡病院からの紹介、残りは口コミや当院の外来患者となっております。

当初は夜間のコールが多く大変でした。

最近では訪問看護のレベル上昇と共に対応力が増し夜間のコールは激減しております。

今年6月の夜間コールは看取り2件を除き0件であり訪問看護の対応力は素晴らしいものがあります。

学会や研修会で留守にする事も多いですが患者家族にきちんと説明する事によりトラブルは皆無です。

連絡を24時間取れるようにする事で不在時の病状悪化でも私を経由して大船渡病院に連絡、搬送し入院できる事を理解してもらいます。

24時間連絡可能という事で家族の安心感は増し、多少の変化でも朝まで様子を見てみようという余裕に繋がります。

看取りも家族に呼吸停止時の時間を把握し、私の帰りを待ってもらう事で解決します。

呼吸停止時の医師の同席は必要無い事と警察を呼ばなくとも良い事さえ理解できれば家族は私を待っていてくれます。

点滴に関しては持続皮下点滴を導入する事によりトラブルは減ります。

家族が傍につく必要は無く自己抜去の際の出血もありません。

腹部に留置する事により患者さんの両手はフリーとなりストレスも減ります。

抗生素等の薬物投与も可能、手技も簡易なので外来患者さんの食欲不振時にも対応が簡単です。

留置、管理、抜去は訪問看護師への依頼で夜間に点滴トラブルで呼ばれる事はありません。

癌性疼痛に関しては最近の医療用麻薬の発達は目覚ましく、使用の基本を抑えていれば疼痛管理は往診対応でも十分可能です。

医療用麻薬使用に関しては薬剤師との協力が必須で訪問服薬指導を入れる事により服薬状況や疼痛の程度、レスキュー使用頻度が把握できます。

薬剤師と訪問看護師の報告で細やかな医療用麻薬の調節が可能です。

このように他職種との連携ができれば訪問診療は特別なものでは無く、ハードルは以前と比べて低くなりました。

いかがでしょうか、外来患者さんが通院できなくなった時がスムースな訪問診療導入のきっかけとなります。

# 県立病院各科紹介

## 僧帽弁閉鎖不全症に対する新しいカテーテル治療 (経皮的僧帽弁クリップ術)

岩手県立大船渡病院 循環器科科長 木 村 琢 巳

はじめに

近年、高齢化社会の進行が問題となっている日本である。しかし、平均寿命においては依然として世界でトップクラスを維持し続けており、昨今の医療機器の進歩に伴い更なる平均寿命の延長が期待される。つい数年前まで手術以外には救命困難であった大動脈弁狭窄症も、2013年からカテーテルを用いたより低侵襲な弁置換術（TAVI：経皮的大動脈弁置換術）が導入された事で救命可能となった。ご高齢や併存疾患があり開胸手術が困難な患者さんでもこのTAVIを施行する事でさらなるADLの向上や、延命が可能となっている。大動脈弁狭窄症以外にも、心房中隔欠損症に対する閉鎖栓や、心房細動による塞栓症予防のための左心耳閉鎖術などカテーテルを用いる事で、これまで開胸手術が必要であった疾患もより低侵襲に治療が可能となっている。

これまでのカテーテルの治療に加えて今回、2018年4月から僧帽弁閉鎖不全症に対しての新たなデバイスが保険償還された。これまで僧帽弁狭窄症に対するバルーン拡張術は可能であったが、その逆流である僧帽弁閉鎖不全症に対するものは国内では初めてとなる。

### I 僧帽弁閉鎖不全症とは

体に栄養や酸素を送り届けるために、心臓がポンプの働きをして血液を送り出している。全身に血流を送り出す左心室の入り口にある弁（僧帽弁）が何らかの原因でうまく閉じなくなることで逆流してしまうのが僧帽弁閉鎖不全症である。僧帽弁閉鎖不全症になると全身に血液がうまく流れなくなるため、肺に水が溜まり息切れや動悸、疲労、体に水が溜まるとむくみになり心不全となる。

高齢化社会の進行に伴いこの病気を患う方が急増している。

### II 僧帽弁閉鎖不全症の治療

僧帽弁閉鎖不全症に対する治療としては軽度から中等度の場合には薬物療法を行う。進行して息切れやむくみなどの症状が強くなってきた場合には外科的僧帽弁形成術もしくは人工弁置換術が主な術式であり、その治療成績は施設による差はあるものの非常に安定している。

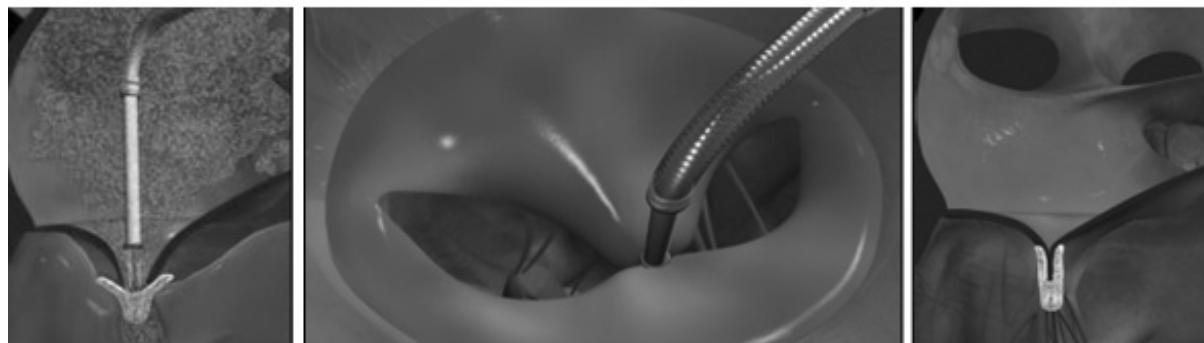


図1 マイトラクリップによる経皮的僧帽弁クリップ術

### III 経皮的僧帽弁クリップ術とは

外科的僧帽弁形成術もしくは置換術は心臓を止めて行う必要があり、人工心肺を使用して行われる。しかしながら内臓機能や身体機能、体格等の問題で開胸での外科的手術が適さない患者さんも存在する。これまで、そうした患者さんは内科的治療で経過をみていたが、その効果は決して満足出来るものではなく経過中に死亡する症例もあった。

手術が困難な患者さんに対して、胸を開けずに逆流を軽減する治療法が2003年に開発された。それが「マイトラクリップを用いた経皮的僧帽弁クリップ術」である。カテーテルと呼ばれる細いチューブで、心臓まで道具を持ち込み僧帽弁の前尖と後尖をクリップでつなぎ合わせ、逆流を減らす（図1参照）。これにより体にかかる負担が少ないため手術が困難であった患者さんに対しても治療が可能となった。現在まで欧米をはじめ世界中で数多くの治療が行われており、本邦では2018年4月に保険償還された新しい治療である。

#### 治療の実際

放射線透視と経食道超音波の情報を元にカテーテルを操作するため、装置の備わったカテーテル治療室で治療を行う。

まず麻酔科の医師により全身麻酔がかけられ、気管内挿管が行われる。

足の付け根の静脈から1cm弱のカテーテルを挿入し、心臓までデバイスを持ち込み、先端の道具を体外から操作し僧帽弁の逆流を減らすようにクリップで弁を挟む（図2参照）。最後にクリップに異常がないか、僧帽弁の逆流と狭窄を確認して終了します。

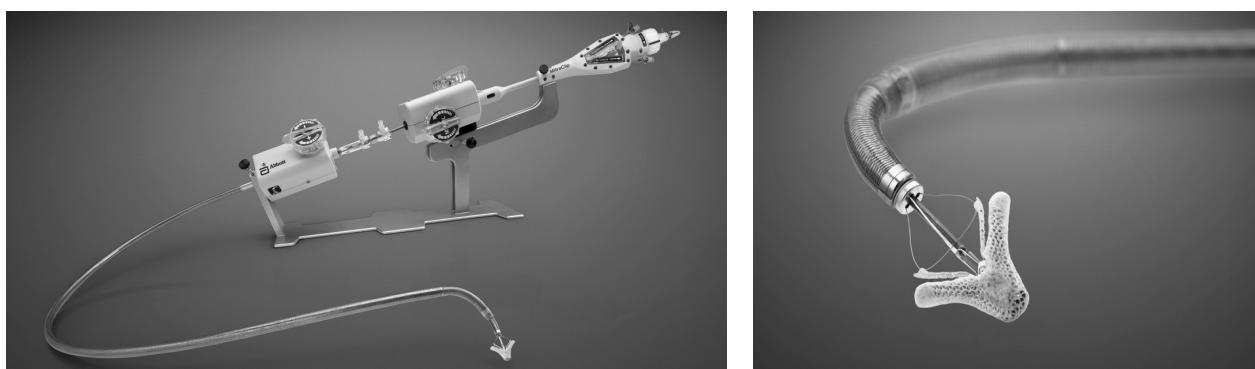


図2 経皮的僧帽弁クリップ術のシステム

### IV 治療を受けるメリットとデメリット

治療を受けることで僧帽弁閉鎖不全症による症状が改善し治療後、数日で日常生活に戻ることが可能である。当然デメリットとしては何らかの合併症により緊急開胸が必要になる場合がある事や、クリップの脱落、塞栓のリスクなどがある。国内臨床試験時には症例が限られたものであり、数が少なかったこともあり、治療中、治療後の大きな合併症の報告はなかった。

### V さいごに

以上により今後より低侵襲に治療可能なクリップを用いた僧帽弁閉鎖不全症の治療が増加していく事が予想されます。ただ弁の形態や逆流の程度によっては手術の方が望ましい症例も存在しますので、心雜音などを認める場合にはいつでも当院へご紹介、ご相談お待ちしております。

連絡先 県立大船渡病院 循環器科

〒022-8512 岩手県大船渡市大船渡町字山馬越10番地1

TEL 0192-26-1111（代表）・FAX 0192-27-9285

# 平成30年度 一般社団法人 気仙医師会定時総会報告

総会の種類：一般社団法人 気仙医師会定時総会

◎開催年月日：平成30年5月23日（水）

午後6時45分～

◎開催場所：大船渡プラザホテル

◎会員総数：62名

(A会員19名・B会員31名・C会員12名)

◎資格審査報告：本人出席28名・委任状18名

計46(最終確認・本人出席28名)

◎議長：菊池洋医師

## 1 開会

菊池議長より、定刻を大分経過したことの発言後、平成30年度気仙医師会定時総会の開会を宣告

## 2 資格審査報告

議長から資格審査確認の報告求められ、伊藤副会長より「資格審査報告」

会員数62名中、本人出席28名・委任状18名、計46名で定款28条の定めにより、本総会が成立了ことが報告され、了承された。

## 3 会長挨拶

会長から、次の趣旨のあいさつがあった。  
「会長職にあって、ここ数年沈みがちな気持ちで過ごしてきたが、その理由は、当地域の診療所等の医師3名が当医師会を退会し、気仙から離れたことが理由にある。今年は、吉浜診療所、済生会陸前高田診療所、国保広田診療所に、経験豊富な3名の先生方が来られ活躍いただいている。また、多くの研修医の先生方も入会し、久しぶりにうれしい雰囲気の中での総会になった。」旨の歓迎の意味を込めた挨拶があった。

※岩渕総務理事より

議事録署名については、定款第31条に議長と会長が当たる旨規定されているとの説明あり。

## 4 議事

①議案第1号平成29年度気仙医師会事業報告書の承認について議決を求める件及び②議案第2号平成29年度気仙医師会収支計算書の認定について議決を求める件について

岩渕総務理事から資料に基づき事業報告の①から⑦まで科目ごとに事業の経過について説明があり、引き続き、収支決算について財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書等により、科目毎に詳しい説明と公益目的支出計画実施報告についての説明がされた。

また、議長より監事からの監査報告を求める発言があり、監事を代表して及川東士監事からこれら一般会計並びに公益目的支出計画の特別会計についての監査報告を受け、出席会員に諮られた。

その後、議長から出席会員に対し、本案を議決することについて求めたところ、挙手全員による全会一致で第1号議案及び第2号議案は可決された。

③議案第3号平成30年度気仙医師会事業計画(案)を定めることについて議決を求める件及び④議案第4号平成30年度気仙医師会収支予算(案)を定めることについて議決を求める件について

岩渕総務理事から事業計画書(案)に基づき説明、引き続き予算書(案)に基づき、収入・支出の各科目の款、項により説明がされた。

その後、議長から出席会員に対し、本案を議決することについて求めたところ、挙手全員による全会一致で第3号議案及び第4号議案は可決された。

⑤議案第5号気仙医師会役員の選任について議決を求める件及び⑥議案第6号気仙医師会選出・推薦による岩手県医師会及び関係団体役員の選任について承認を求める件について収支予算(案)の認定について

岩渕総務理事(理事等候補者推薦委員会委員長)から、以下の通り提案説明がなされた。

気仙医師会定款施行細則により、3月14日に理事等候補者推薦委員会を立ち上げ、同日と3月27日2回にわたり、協議した結果、以下の方々を理事及び監事並びに議長、副議長に推薦することとしたので、本総会での議決をお願いする旨、提案がなされた。

理事候補者には、滝田有、鶴浦章、岩渕正之、渕向透、伊藤俊也、鳥羽有、星篤樹、田畠潔、山浦玄悟、吉澤徹以上再任、氏家隆、小笠原敏浩以上新任。

監事候補者には、佐々木道夫、及川東士以上再任、外部監事として新沼邦夫氏新任を推薦することが提案された。なお、伊藤達朗理事、盛直久理事、遠藤稔弥理事及び上野直和監事は、任期満了により退任することとなった。

また、医師会の議長団として、議長には菊池洋(再任)、副議長には菊田裕(再任)を選出することが提案された。

更に、気仙医師会選出・推薦による岩手県医師会及び関係団体役員の選任について協議した結果、以下の方々を推薦することとしたので、

本総会での承認をお願いする旨提案された。

岩手県医師会代議員には、飯塚和彦、鳥羽有、予備代議員に、遠藤稔弥、山浦玄悟

岩手県医師会裁定委員に、櫻井末男、岩手県医師会理事に、岩渕正之

続いて、岩手県医師会各種委員会委員及び各部会幹事として、広報部会委員には、鳥羽有、保険問題協議会委員に石倉功一、学校医部会幹事に星篤樹、勤務医部会幹事に田畠潔、産業医部会幹事に岩渕正之、労災部会幹事に鳥羽有、生涯教育委員会委員に田畠潔、診療所部会幹事に木川田典彌、成人病検診協議会委員菊池洋、警察医・検査委員会委員に菊田裕、災害・救急救護連絡協議会委員に滝田有、選挙管理委員会委員に鵜浦章

岩手県医師会関係機関・団体等の役職として、医師国民健康保険組合会議員には、鵜浦章、医師信用組合役員に鳥羽義紀、医師信用組合総代に菊田裕、大津定子、鳥羽有、飯塚和彦、いわて医師協同組合役員に大津定子、いわて医師協同組合総代には、大津定子、滝田有との提案がされた。

その後、議長から出席会員に対し、本案を議決することについて求めたところ、挙手全員による全会一致で第5号議案及び第6号議案は可決された。

⑦その他について、会員に提案を求めたが特になく、事務局から発言を求められた。

岩渕総務理事から、総会資料のほかに、気仙医師会役員体制及び関連職務、組織図、県医師会各種委員会委員等及び関係機関・団体役職名簿について、別紙の通り配布していることの説明がされた。

## 5 その他

特に質疑等なし

## 6 閉 会

最後に、議長より議場に閉会宣言があり、総会の一切を終了した。



## □ 気仙医師会新役員

(平成30年5月23日～平成32年5月総会日まで)

役職名	氏 名	新任・再任	岩手県医師会関連職務
会長	滝 田 有	再任	いわて医師協同組合総代 災害・救急救護連絡協議会委員 予防医学協会評議員
副会長	鵜 浦 章	再任	県選挙管理委員会委員 医師国保組合議員
"	岩 渕 正 之	新任	県医師会理事 産業医部会幹事
"	渕 向 透	"	岩手医学会評議員
総務理事	伊 藤 俊 也	再任	
理事	鳥 羽 有	"	代議員 広報部会委員 労災部会幹事 医師信用組合総代
"	星 篤 樹	"	学校医部会幹事
"	田 畑 潔	"	生涯教育委員会委員 勤務医部会幹事
"	山 浦 玄 悟	"	予備代議員
"	吉 澤 徹	"	県少子化対策委員会委員
"	氏 家 隆	新任	
"	小笠原 敏 浩	"	
監事	佐々木 道 夫	再任	
"	及 川 東 士	"	
"	新 沼 邦 夫	新任	外部監事

議長：菊 池 洋 副議長：菊 田 裕

役職名	氏 名	県医師会関係機関職務
参 与	大 津 定 子	女性医部会幹事 医師信用組合総代 いわて医師協同組合役員 いわて医師協同組合総代

## □ 気仙医師会組織図

(任期：平成30年5月23日～平成32年5月総会日まで)



## 会員の異動

### \*\*\* 新入会員のご紹介 \*\*\*

#### 深澤信博先生

入会月日 平成30年4月2日  
生年月日 昭和27年4月15日  
出身校 自治医科大学医学部  
勤務地 済生会陸前高田診療所

#### 岩井直道先生

入会月日 平成30年4月1日  
生年月日 昭和30年8月6日  
出身校 千葉大学医学部  
勤務地 陸前高田市国民健康保険広田診療所

#### 町田愛里沙先生(研修医)

入会月日 平成30年4月1日  
生年月日 平成4年8月13日  
出身校 岩手医科大学医学部  
勤務地 岩手県立大船渡病院

#### 菊池琴佳先生(研修医)

入会月日 平成30年4月10日  
生年月日 平成5年7月9日  
出身校 岩手医科大学医学部  
勤務地 岩手県立大船渡病院

#### 菊池彩加先生(研修医)

入会月日 平成30年4月10日  
生年月日 平成5年9月21日  
出身校 岩手医科大学医学部  
勤務地 岩手県立大船渡病院

#### 虫壁奈津希先生(研修医)

入会月日 平成30年4月10日  
生年月日 平成4年8月6日  
出身校 岩手医科大学医学部  
勤務地 岩手県立大船渡病院

#### 石川秀太先生(研修医)

入会月日 平成30年4月17日  
生年月日 平成5年5月7日  
出身校 自治医科大学医学部  
勤務地 岩手県立大船渡病院

#### 福原聰先生(研修医)

入会月日 平成30年4月20日  
生年月日 昭和55年5月4日  
出身校 福岡大学医学部  
勤務地 岩手県立大船渡病院

#### 荒川夢香先生(研修医)

入会月日 平成30年4月20日  
生年月日 平成3年6月12日  
出身校 岩手医科大学医学部  
勤務地 岩手県立大船渡病院

#### 川村英生先生

入会月日 平成30年5月1日  
生年月日 昭和54年4月11日  
出身校 岩手医科大学歯学部・医学部  
勤務地 岩手県立大船渡病院

## 会員の退会

#### 中野達也先生

(岩手県立中部病院へ)

退会年月日(平成30年6月30日)

#### (お詫びと訂正)

「けせん医報」第145号(2018年4月25日発行)  
7ページの会員退会の記事に誤りがありました。

(正) 天野 朋彦

(誤) 天野 明彦

天野先生ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

村田プリントサービス 代表 村田 友裕

## 学校医・嘱託医等について

◎大船渡市関係

### 平成30年度 小中学校医

施設名	児童生徒見込数	内科	眼科	耳鼻科
盛 小 学 校	127人	大津定子	飯塚和彦	伊藤俊也
大 船 渡 小 学 校	152人	星 篤樹	飯塚和彦	伊藤俊也
末 崎 小 学 校	139人	滝 田 有	飯塚和彦	伊藤俊也
赤 崎 小 学 校	119人	鵜 浦 哲 朗	飯塚和彦	伊藤俊也
猪 川 小 学 校	307人	大津定子	飯塚和彦	伊藤俊也
立 根 小 学 校	192人	星 篤樹	飯塚和彦	伊藤俊也
日 頃 市 小 学 校	72人	山 浦 玄 嗣	飯塚和彦	伊藤俊也
大 船 渡 北 小 学 校	157人	菊 池 洋	飯塚和彦	伊藤俊也
綾 里 小 学 校	98人	山 浦 玄 悟	飯塚和彦	伊藤俊也
越 喜 来 小 学 校	78人	佐々木道夫	飯塚和彦	伊藤俊也
吉 浜 小 学 校	53人	渡 邊 周 永	飯塚和彦	伊藤俊也
第 一 中 学 校	342人	遠 藤 稔 弥	飯塚和彦	伊藤俊也
大 船 渡 中 学 校	160人	岩 泷 正 之	飯塚和彦	伊藤俊也
末 崎 中 学 校	87人	滝 田 有	飯塚和彦	伊藤俊也
赤 崎 中 学 校	70人	鵜 浦 哲 朗	飯塚和彦	伊藤俊也
日 頃 市 中 学 校	33人	山 浦 玄 嗣	飯塚和彦	伊藤俊也
綾 里 中 学 校	58人	山 浦 玄 悟	飯塚和彦	伊藤俊也
越 喜 来 中 学 校	47人	佐々木道夫	飯塚和彦	伊藤俊也
吉 浜 中 学 校	34人	渡 邊 周 永	飯塚和彦	伊藤俊也

※児童生徒見込数は、平成29年11月1日現在

## 平成30年度 就学時健康診断担当医

施設名	受診対象見込数	内科	眼科	耳鼻科
盛保育園	27人	大津定子	飯塚和彦	伊藤俊也
大船渡保育園	23人	岩渕正之	飯塚和彦	伊藤俊也
明和保育園	23人	岩渕正之	飯塚和彦	伊藤俊也
末崎保育園	24人	大津定子	飯塚和彦	伊藤俊也
赤崎保育園	10人	鵜浦哲朗	飯塚和彦	伊藤俊也
蛸ノ浦保育園	8人	鵜浦哲朗	飯塚和彦	伊藤俊也
猪川保育園	29人	大津定子	飯塚和彦	伊藤俊也
立根保育園	27人	星篤樹	飯塚和彦	伊藤俊也
日頃市保育園	12人	山浦玄嗣	飯塚和彦	伊藤俊也
海の星幼稚園	28人	山浦玄嗣	飯塚和彦	伊藤俊也
綾里こども園	幼稚園籍 保育所籍 2人 8人	山浦玄悟	飯塚和彦	伊藤俊也
越喜来こども園	幼稚園籍 保育所籍 0人 12人	佐々木道夫	飯塚和彦	伊藤俊也
吉浜こども園	幼稚園籍 保育所籍 0人 8人	渡邊周永	飯塚和彦	伊藤俊也

※受診対象見込数は、平成29年11月1日現在

## 平成30年度 こども園・幼稚園・保育所学校医

学校・園名	幼児見込数	内科 (学校医)	眼科 (学校医)
綾里こども園	60人	山浦玄悟	飯塚和彦
越喜来こども園	71人	佐々木道夫	飯塚和彦
吉浜こども園	51人	渡邊周永	飯塚和彦

※幼児見込数は、平成29年12月1日現在

## 平成30年度 児童生徒「結核精密検査」実施医療機関

NO	医療機関名	住所	医師名
1	岩渕内科医院	大船渡町字新田49-4	岩渕正之
2	石倉クリニック	大船渡町字地ノ森43-9	石倉功一
3	うのうらクリニック	立根町字中野40-5	鵜浦哲朗
4	えんどう消化器科・内科クリニック	猪川町字中井沢7-2	遠藤稔弥
5	大津医院	盛町字東町11-11	大津定子
6	菊田外科泌尿器科医院	大船渡町字明神前11-1	菊田裕
7	滝田医院	末崎町字平林75-1	滝田有
8	地の森クリニック	大船渡町字山馬越188	藏本純一
9	山浦医院	盛町字内ノ目2-4	山浦玄悟
10	山崎内科医院	盛町字内ノ目7-20	山崎一郎
11	大船渡市国保越喜来診療所	三陸町越喜来字所通26-1	佐々木道夫

◎陸前高田市関係

## 平成30年度 小中学校医

### 内科

学校名	児童生徒在籍予定数	医療機関名	医師名
高田小学校	173	岩手県立高田病院	大木智春
気仙小学校	54	星子どもクリニック	星篤樹
広田小学校	118	鳥羽医院	吉澤徹
小友小学校	68	鳥羽医院	吉澤熙
米崎小学校	148	鳥羽医院	吉澤熙
矢作小学校	37	陸前高田市国保二又診療所	石木幹人
竹駒小学校	54	鵜浦医院	鵜浦章
横田小学校	59	岩手県立大船渡病院	渕向透
高田第一中学校	271	鵜浦医院	鵜浦章
高田東中学校	184	陸前高田市国保二又診療所	石木幹人

### 耳鼻科

学校名	児童生徒在籍予定数	医療機関名	医師名
市内全小中学校	1,167	いとう耳鼻咽喉科クリニック	伊藤俊也

### 眼科

学校名	児童生徒在籍予定数	医療機関名	医師名
市内全小中学校	1,167	飯塚眼科医院	飯塚和彦

## 平成30年度 保育所等嘱託医

区分	保育所名	児童在籍予定数	医療機関名	医師名
公立	高田保育所	102	岩手県立高田病院	大木智春
	小友保育所	60	鳥羽医院	吉澤熙
	今泉保育所			
	長部保育所	35	大津医院	大津定子
	矢作保育所			
法人立	広田保育園	78	鳥羽医院	吉澤徹
	米崎保育所	102	鳥羽医院	吉澤熙
	横田保育園	31	大津医院	大津定子
	竹駒保育園	57	鵜浦医院	鵜浦章
	下矢作保育園	27	陸前高田市国保二又診療所	石木幹人
公立	3歳児眼科検診	94	飯塚眼科医院	飯塚和彦
児童扶養手当障害認定医(内科)			鵜浦医院	鵜浦章
児童扶養手当障害認定医(外科)			—	—
児童扶養手当障害認定医(精神科)			—	—

※児童数は、平成30年1月30日現在

## 学校保健会委員

### 1、陸前高田市学校保健会委員

(1名) 【任期1年: 平成30. 4. 1 ~ 31. 3. 31】

鵜浦章 医師



(4月~6月)

4月2日(月) 新年度スタート

住田町保健福祉課佐々木光彦課長、千葉英彦課長補佐、鈴木絹子課長補佐兼福祉係長、菊池有美主事、紺野達夢主事来訪（気仙医師会館）

4月3日(火) いわて医師協同組合坂本守事務局長来訪（気仙医師会館）  
大船渡保健所北川明子保健課長他来訪（気仙医師会館）

4月4日(水) 潤生会陸前高田診療所伊東紘一所長、深澤信博医師来訪（気仙医師会館）

4月5日(木) 岩手県立高田病院田畠潔院長、一井誠事務局長、榎智子総看護師長来訪（気仙医師会館）  
陸前高田市国保広田診療所広域予防接種事業意向確認

4月9日(月) 陸前高田市国保広田診療所岩井直道医師、千葉恭一民生部長、高橋拓也主事来訪  
(気仙医師会館)